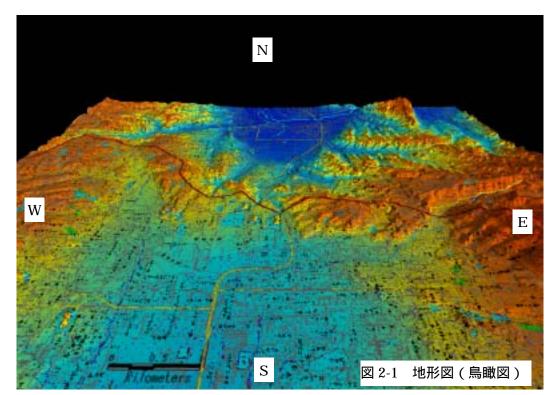
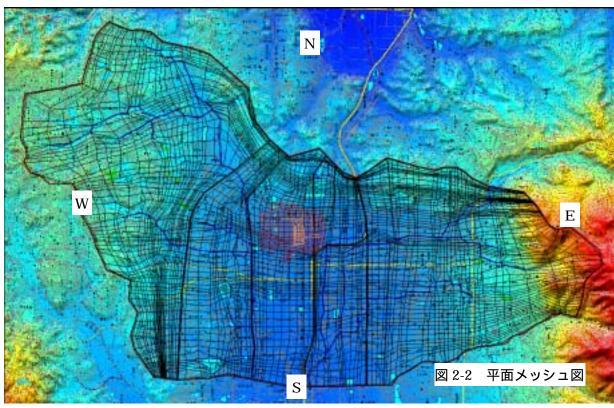
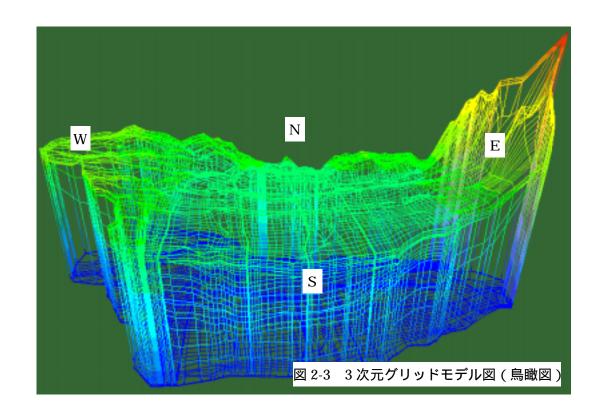
2.解析モデルの作成

2-1 3次元グリッドモデル

図 2-1 にグリッド作成に用いた地形鳥瞰図、図 2-2 に平面メッシュ図、図 2-3 に 3 次元鳥瞰図を示す。







2 - 2 水理定数

図 2-4 および図 2-5 に地層の材料区分図を、また、図 2-6 に地表の材料区分図を示す。 各区分の水理パラメータは、表 2 - 1、表 2 - 2 に示すとおりである。

区分名	有効空隙率	透水係数(cm/sec)
盛土層(B)	0.15	1.0×10^{-3}
沖積粘土層 (Ac)	0.1	1.0×10^{-7}
沖積砂・砂礫層 (As)	0.15	1.0×10^{-4}
段丘砂・砂礫層 (Tlg , Tmg)	0.15	5.0×10^{-3}
段丘粘土層 (Tlc, Tmc)	0.1	1.0×10^{-7}
大阪層群砂・砂礫層(Os1~Os4)	0.2	1.0×10^{-3}
大阪層粘土層 (Oc1~Oc6)	0.1	1.0×10^{-7}
三笠安山岩(M) 地獄谷累層(J)		
領家変成岩類・領家花崗岩類 (R)	0.05	1.0×10^{-5}

表 2 - 1 各層の有効空隙率・透水係数(初期推定値)

表2-2 マニングの粗度係数(初期推定値)

区分名	マニングの粗度係数	
河道部 (佐保川、秋篠川、能登川)	0.025	
山林部	0.6	
その他(奈良市街地、宅地他)	0.3	

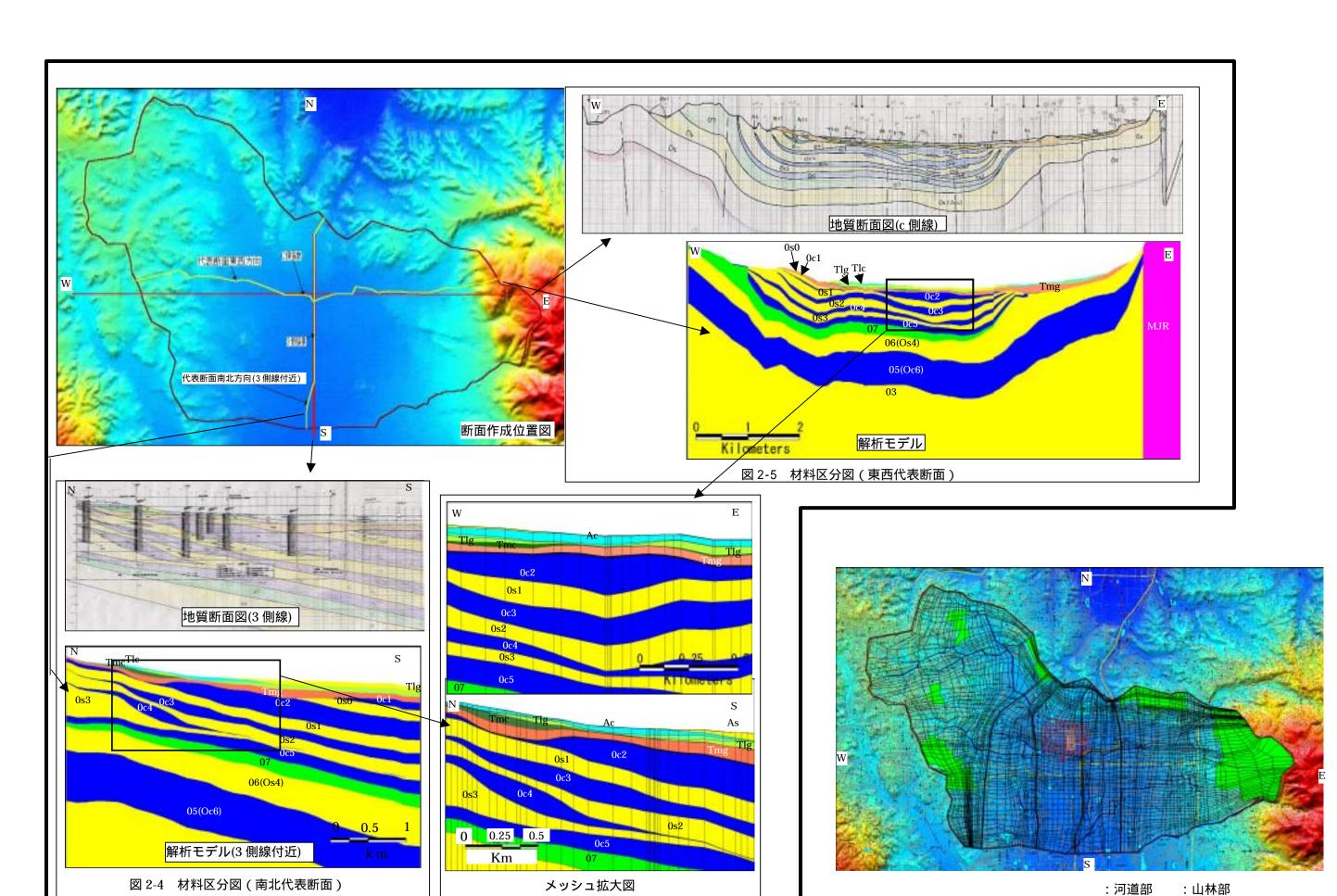


図 2-6 地表区分図